

グリーン購入 まめ知識

vol.10

「環境ラベル」

グリーン購入を行うときに環境ラベルを参考にされる方も多いかと思いますが、しかし環境ラベルも種類が沢山あってどれが何を示すのかわからない！そんなことを思っている人も多いでしょう。エコマークに代表される環境ラベルには3つの分類に分けることができます。それぞれの特徴があり、知っておくと便利かもしれません。

【Type 1】エコマークや国際エネルギースターマーク（パソコンなどについている）に代表されるもので、第三者によって認証されるマークです。

【Type 2】業界団体などの自己宣言による環境ラベルで、代表的なものはグリーンマークや再生紙使用マークなどがあります。

【Type 3】製品の環境負荷の定量的データの表示がされたラベルで、エコフリー環境ラベルが代表的で、他にも地方独自の環境ラベルなどがあります。

商品やサービスを購入する際に、ぜひ環境ラベルの付いている商品を探してみてください。環境ラベルが付いている商品を見つけたら、そのマークの種類を見比べてレベルの高いものをご購入することをお勧めします。

環境ラベルを詳しく知りたい方は、環境省のウェブサイトをご覧ください！
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/01.html

(文)コクヨ近畿販売(株) アカウソト営業本部 事業開発室 室長 高橋伸年

環境にいいモノ つくる人・売る人・買う人、集まれ！



京都GPN-news vol.11

京都グリーン購入ネットワークニュース

TOPICS

グリーン購入を深める、拡げるきっかけ盛りだくさん！

この秋スタート 事業紹介

京都 GPN では、会員が中心となり、この秋からはじまる、さまざまなグリーン購入を拡げる取り組みを企画しています。申し込み、お問い合わせは事務局までご連絡ください。

10/16(火)
10/23(火)



グリーン購入実践講座 第1回営業編 / 第2回購買編

環境を強みに営業力 UP !

グリーン購入に取り組んでいるけれども、営業に活用しきれていない、取引先から環境配慮型の商品サービスを求められ、対応に困っている—そんな営業担当者におすすめしたいのが営業編実践講座です。環境を積極的に営業にいかし、新たなビジネスチャンスをつくりだしている事例を紹介し、エコもビジネスもWinWinにする営業戦略のヒントを見つけましょう。

購買からもっと拡がるグリーン購入

グリーン購入率を高めたけど他に何をしたらよいか分からない、なぜエコ商品を買うのかわからないと思っている購買担当者の皆さん、ぜひ購買編実践講座にご参加ください。購買担当者の仕事の意義や「買う」だけではないグリーン購入を拡げるヒントを得ましょう。

■内容：

- ・温暖化についての学習 DVD「未来の選択」上映
- ・事例紹介
平安リネン工業(株)、株式会社ホンダカーズ京都
- ・ワークショップ
「営業、購買のグリーン購入のヒントをみつける」
- ・懇親会

■日 程：営業担当編……10月16日(火)

購買担当編……10月23日(火)

午後2:30から受付 午後3:00から開始
午後6:00終了予定(懇親会のぞく)

■場 所：各回京都工業会館3階 第2教室

■定 員：各回20人(定員になり次第締切)

■参加費：各回 会員 1000円 / 非会員 2000円
(懇親会費含む)

11/14
(水)



企業見学会 環境の取り組みのヒントを見つけよう！

昨年大好評だった、企業の環境の取り組みを実際に見て、きいて、学ぶ「企業見学会」を開催します。環境の取り組みのヒントをみつけに参加しませんか。

■日 程：11月14日(水) 午前8:30から午後6:00
(時間は若干変更する場合があります)

■見 学：(株)島津製作所、嵐電御室仁和寺駅の環境への取り組み、サントリー京都ビール工場

■定 員：30人(定員になり次第締切)

■参加費：会員 1000円 / 非会員 2000円
(昼食代含む)

グリーン 名刺 交換会

会員さんの誌上名刺交換会
コーナーです。

株式会社 マサミガーデン

■担当者：グリーンレンタル部 大石 頼男
■連絡先：〒617-0004
京都府向日市鶏冠井町七反田17
TEL) 075-922-7121 FAX) 075-934-0538
E-mail) info@masami-garden.com

■グリーン購入に関して企業 PR

当社は造園の設計・施工、庭の維持管理、観葉植物等のレンタル及び販売を主に行なっております。植物を植栽することは地球温暖化防止にもつながります。例えば、屋上緑化をすることでヒートアイランド現象による気温の上昇を緩和することができます。

また、観葉植物には室内の空気を浄化したり、目の疲れを和らげたりといった癒しの効果もあります。

このように当社の事業は環境への取り組みと深く関わっており、京都 GPN を通じてみなさんのオフィス内外の緑化のお手伝いができればと思っております。



観葉植物用の温室です。元気な植物たちがレンタルされるのを順番待ちしています。

橋立ベイホテル

■担当者：フロント主任 寺立 浩人
■連絡先：〒629-2262
与謝郡岩滝町字男山 800-1
TEL) 0772-46-6100 FAX) 0772-46-6200
E-mail) harbland@vesta.ocn.ne.jp

■グリーン購入に関して企業 PR

当ホテルでは、お取引先、地域の方々などのご理解とご協力を得ながら、省資源、省エネルギーの推進、廃棄物の適正な処理と削減、リサイクル商品の積極利用など様々なエコロジー活動を実践しています。例えば、連続してご宿泊されるお客様が、シーツ・アメニティの交換が不要の場合は「グリーンカード」(写真)をドアノブにかけていただき、水と洗剤の削減にご協力いただいております。また、歯ブラシやカミソリなどの持参もよびかけ、身近なところから環境への負荷を軽減しています。



京都グリーン購入ネットワーク 会員数 (2007年9月末現在)

■会員数：138 (内訳：企業102/自治体7/団体21/個人8)

■新入会員：15 (内訳：企業13/団体1/行政0/個人1)

企業/株式会社朝日組、エイテック株式会社、株式会社オオマエ、(株)尾張鉄、京都信用金庫、三洋興業株式会社、セイブプロパン株式会社、株式会社大気社京都営業所、東邦電気産業株式会社、戸田建設株式会社大阪支店、西田製函株式会社、(株)日本エナジー研究所、株式会社灰孝本店 団体/特定非営利活動法人京都地球温暖化防止活動府民会議 個人/坪倉純一郎

会員募集中!

お問合せ/入会申込み

京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>

[TEL] 075-241-4664 (FAX同じ) [E-mail] kgpn@dolphin.ocn.ne.jp

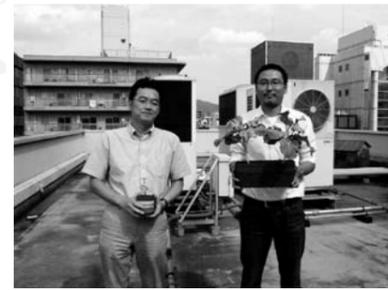
〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る呉波ビル3階 特定非営利活動法人 環境市民内





— これからはイベントもキャンペーンもエコ! —

地 球温暖化が深刻化する中、環境をテーマとしたイベントや展示、広告やキャンペーンが増えている。こうしたイベントを手がけている株式会社 関広 企画営業部の山田一彦さんと朝子大真さんにお話をうかがった。



屋上緑化もやってみたい、と密かに!? 育てているお気に入りの植物を持って。左が山田さん、右が朝子さん

■エネルギーのグリーン化にチャレンジ

まず、環境配慮型のイベントとはどんなものだろうか。

今年、関広は7月7日に世界7か国で行われた環境をテーマとしたコンサート「LIVE EARTH」京都会場をプロデュースした。ここでは、エネルギーのグリーン化、スタッフへのマイボトル、マイカップ、マイ箸持参の呼びかけ、ステージをできるかぎりリユース(再利用)素材で設置、ごみの分別、再資源化関係スタッフ車両のCO₂予測排出量の測定、NPO/NGOとの協力が行われた。コンサートはわずかな時間で大量のエネルギーを使う。そこで今回、国内ではじめて、会場に持ち込む電力をバイオディーゼルの燃料(BDF)で発電するという試みを行った。

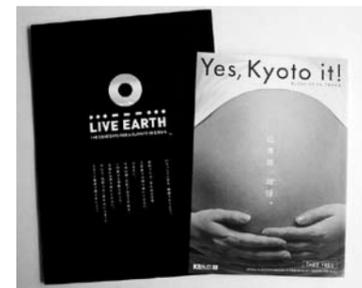
た。これが大変だった。発電や音響に関わる担当社にとつて、コンサートの途中で万が一電源が落ちれば一大事になる。はじめての試みには不安があった。そこで何度も協議・検討を行い、「今後の日本のコンサートをグリーン化するきっかけになる」と時間をかけて説明。担当社の根強い協力もあってコンサートは大成功。エコなコンサートの可能性をまた一歩進めることになった。

スタッフ用のお弁当はリユース食器を使ったものを手配した。「これは本当にごみの量が減ってびっくりした」。コンサートでは延べ1000人以上のスタッフがいた。そのスタッフが、お弁当を食べ、ペットボトルや缶飲料を飲むと……大量のごみが出る。マイ箸の持参もよびかけた。たかがマイ箸持参とはいえ、大量のスタッフがスムーズにマイ箸を持参するようにするには、事前のよびかけ、忘れた人へのリユース箸の用意、使った箸をどこに集めて、何人のスタッフがそれを洗って……こうした細かな段取り、人の手配をしてはじめて、エコなコンサートはできあがる。

■エコイベント、キャンペーンの経験が強い

2006年には「Kyoto it」というKBSのキャンペーンを手がけた。NGO環境市民が提供する環境情報を毎週ラジオで伝えるとともに、京都のNPOや環境活動をやっている人達と一緒に、エコなメッセージを盛り込んだ小冊子を作成した。「エコを楽しもう! というメッセージを伝えたい」と朝子さん。面白い、学校の副読本にしたい、など反響は上々だった。ここで生まれたNPOとのつながりは大きな財産になり、エコなメッセージをどう伝えたいか、という経験もエコアクションをする度に、どうしたらス

ムーズにできるか、うまく人に伝えられるかといった「経験値」が蓄積された。今は、クライアントから「こういうエコなアクションをしたい」というリクエストに対して具体的に提案、助言できるようになったという。



右が Kyoto it、左が LIVE EARTH の冊子。

■エコイベントのアイデア次々と

今後やってみたいことを最後にきいてみた。「遊びゴコロいっぱい面白い広め方をやってみよう。例えば、1週間携帯や電話を使わない、とかどう? ノーカーデー (No car day) ※1 もやってみたい」と朝子さん。「注目しているのはbankaid ※2。今はよびかけたり伝えたりすることにどまっているけれども、根本的に環境に貢献できるようなことをしてみたい」と山田さん。次々と湧くアイデアに話が尽きず、エコなイベント、キャンペーンの可能性がどんどん広がっていくのを感じた。こうしたアプローチが、環境の取り組みを拡げていくときに大きな力になるだろう。関広のプロデュースで今後どんなエコムーブメントが生まれるのか楽しみだ。

(文/事務局 有川真理子)

役員紹介



(株) 島津製作所
地球環境管理室 室長 天野 輝芳 氏

弊社では、2008年度末迄に、事務用品購入高の90%、主要材料購入高の45%をグリーン調達品とする目標を掲げています。企業が蓄積したグリーン調達の情報を市民の方々にも広く開示することで、よりグリーンな社会の早期実現を目指して少しでもお役に立ちたいと考えております。

(注釈)
※1 ヨーロッパで行われている車の合理的な使い方を考えるきっかけをつくる取り組み。その日は車を使わず、まちを楽しむことをよびかける。1000以上のまちが参加。
※2 Mr.Childrenのボーカル桜井和寿とプロデューサー小林武史が中心となって結成されるバンド。環境保護や自然エネルギー普及などのプロジェクトに融資している。

市民向け
グリーン購入講座

年末には、市民を対象としたグリーン購入講座を企画しています。グリーン購入を拡げていくためには、買い手となる「消費者」の理解が重要です。そこで実践講座(営業編・購買編)を事例にとりあげながら、実際に買うときにどんな環境配慮ポイントがあるのかを一緒に考えるワークショップを考えています。

■日程: 12月
※日程や場所、参加費、定員は調整中です。

1万人の環境にやさしい
買い物キャンペーン

会社としての取り組みも大事ですが、その社員が環境に取り組みれば、その効果は絶大です。そこで、会員企業の社員を対象に、旬の野菜を選ぶ、エコ文具を選ぶ、容器包装材の少ない商品を選ぶといったすぐ実践できるエコなお買い物アクションをよびかけるキャンペーンを11月から行います。合計1万人の参加を目標に、グリーン市場を京都からつくっていきます。キャンペーンに関心のある方、参加したい、という方は事務局までご連絡ください。

eco エコ出張をはじめよう!

京都 GPN では、昨年、「京都府 旅館・ホテル環境ラベルガイドライン(仮称)」を作成しました。これはGPNのガイドラインをもとに、中小規模の宿泊所でも取り組めるような内容に工夫したものです。これを普及するため、今年には府内のビジネスホテルを対象に、環境への取り組みをヒアリング。その結果を、会員企業に紹介し、出張の際、よりエコなホテルを選び、さらには、アメニティグッズを持参するなど「エコな出張スタイル」を実践するよう働きかけます。

コピー用紙、トイレト
ペーパーのグリーン購入
パンフを配布

昨年、京都 GPN が作成したコピー用紙、トイレトペーパーのグリーン購入ガイドラインを普及するため、簡単な冊子を作成し、自治体、会員企業に配布します。購買担当者や営業担当者が手元において気軽に使えるようなツールを準備中です。

エコなホテル・旅館の
取り組みを紹介

エコな旅館の取り組みをより多くの人に知ってもらうため、昨年策定した前述のガイドラインを活用して、旅館のヒアリング取材を行い、その情報を「読み物」としてウェブやニュースレターで紹介します。お近くに、お知り合いにエコな取り組みをされている旅館ホテルがありましたら事務局までお知らせください。

自治体のグリーン購入
実態調査

自治体は、地域でのグリーン購入をすすめていく上で重要です。そこで、府内26の自治体に対し、グリーン購入の取り組み具合を尋ねる調査を行います。市内のグリーン購入だけではなく、地域の事業者がグリーン購入に取り組むような働きかけを行っているかなども尋ねています。すでに8月末に調査票を発送しており、9月下旬には結果をご紹介します。

活動に
参加しよう!

京都 GPN ではこれらの活動を広報コミュニケーション、普及啓発、環境ラベルの3つの部会ですすめています。グリーンな市場をつかっていくには会員が少しずつ力をあわせて活動を行っていくことが大切です。ぜひ皆さんも部会の活動にご参加ください。